

サマー ピラミッド

国語 小4

Summer Pyramid

インパラ Impala

回	単元名	ページ	学習日
1	ねこと友だち	2 ～ 5	月 日
2	キツネとタヌキの大研究	6 ～ 9	月 日
3	ひあたり山とひつじのロロシ	10 ～ 13	月 日
4	レモン／じつと見てくるよ	14 ～ 17	月 日
5	夏子先生とコイサギ・ボーイズ	18 ～ 21	月 日
	ことば遊び	22 ～ 23	月 日



第1回 ねこと友だち

学習内容

漢字のでき方と部首
物語文

学習日 / 月 日

上の立てふだに書かれていることばの意味に合うものを下の花から選んで、□に記号を書こう。

① 花よりだんご
ア 外から見た様子が美しいだけでなく、内容もじゅうじつしている。

② 言わぬが花
イ 名前や外見より、実さいに役に立つもののほうがよい。

③ 花も実もある
ウ てがらなどをゆずって、相手を引き立てる。

④ 花をもたせる
エ ことばにして言わないで想ぞうさせるほうが、味わいやおもしろみがある。

⑤ となりの花は赤い
オ ほかの人のものはなんでも自分のものよりもよく見える。

1 〈漢字の読み書き〉

(1)~(4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5)~(8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。

(1) 学級委員としての自覚をもって行動する。

(2) なかなか作れず苦勞した。

(3) 鏡にうつして、自分のしせいを正した。

(4) 未来のゆめを実現するために、毎日努力を続ける。

(5) みんなで、みさきのトウダイを見学する。

(6) クラス全員がキョウリヨクして校庭の草取りをした。

(7) まどがきれいにふけるのでペンリだ。

(8) カイスイヨクで真っ黒に日やけた。

Blank boxes for writing answers to questions 1-8.

2 〈漢字のでき方〉

次の漢字を、漢字のでき方から、四つのグループに分けなさい。

休 中 持 二 火 岩 犬 想

象形文字

指事文字

会意文字

形声文字

Blank boxes for categorizing the characters into four groups.

3 〈漢字の部首〉

次の漢字を、部首の位置によって、七つのグループに分けなさい。

然 開 病 感 秒 写 顔 遠
起 新 坂 庫 宿 園

へん

つくり

かまえ

かんむり

あし

たれ

にょう

Blank boxes for categorizing the characters into seven groups based on radical position.

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

ノラネコだったねこは、今は、ひとりぐらしのおばさんにかわれて
います。おばさんは、おさかなの夫婦ごうふもかっていました。ねこは、い
つしか、このおさかなたちといろいろな話をするようになっていまし
た。

ある日、ねこはけがをして帰ってきました。右の耳のさきつば
がさけていました。血は止まっていたましたが、ひどいきずです。
耳の形がちがって見えました。顔のあちらこちらに血がついてい
ます。

「ブータレ、おまえ、なにやってきたんだい！」

おばさんは、ねこを見て顔をしかめました。それでも、おそろ
おそろきずのであてをしてくれました。でも、しみるくすりをつ
けられたせいで、ねこはけががひどくなったような気がしました。
おさかなも、ねこを見ておどろきました。

「どうしたの、その耳？」

ねこはてれくさそうに答えます。

「ちよっとけんかしたのさ。道ばたに落ちてたタイヤキを取りあ
つてさ……」

「タイヤキ？」

おさかなはタイヤキを知りませんでした。

ねこがていねいに説明してあげても、どうもうまくわからない
ようです。

それもそのはず、おさかなは、タイも、おまんじゅうも、アン

15

10

5

コも、食べたことなどありませんでした。

ねこは、して言いました。

「つまり、きみたちそっくりのおかしだよ」

おさかなのおくさんは、あぶくのような声でつぶやきました。

「あたしたちを食べるの？」

ねこは頭をかかえました。耳のきずがずきんとしました。

「きみらを食べんじやないよ。おかしだよ。きみたちみたいなか
25

つこうのおかしだよ」

おさかなの夫婦は、どうもふに落ちないといった顔をしていま
した。それは、えさから出ているつりばりを見つけたときの顔に
よくにっていました。

それからというもの、ねこはおさかなにかくれてごはんを食べ
るようになりました。とくに大好物のアジやイワシを食べるとき
には気をつけました。

今までだって、アジやイワシが気にならなかったわけじゃあり
ません。でもそれは食べものでした。たまたま友だちと同じよう
な形をしているだけでした。

おさらの上のアジやイワシは、えさを食べたり、泳いだり、話
したりしません。アジもイワシもタイヤキと同じように、食べる
ために作られたんだと思っていました。

ねこのけがは、なかなかおおりませんでした。

きず口からバイキンでも入ったのでしょうか。一度おおりかけ
40

たきずがうんで、耳がはれてきました。

おさかなは、えさをのこすようになりました。

35

30

20

おばさんは、いつもならふとりすぎに注意して半分のごすこは
んを、知らずにぜんぶ食べてしまおうほど心配しました。

(いとうひろし『ねこ友だち』徳間書店)

*ふに落ちないりなつとくできない。

問一 線①「ねこはけがをして帰ってきました」について、次の

(1)・(2)に答えなさい。

(1) なぜけがをしたのですか。次のにあてはまることばを文

中から書きぬきなさい。

道ばたに落ちていた

を取りあつて

をしたから。

(2) どんなけがをしたのですか。けがの様子がくわしくわかるこ

とばを文中から十六字で書きぬきなさい。

Grid for question 1(2) answer: 16 characters.

問二 にあてはまることばとして、もつともよいものを次のア

エから選び、記号で答えなさい。

ア いらいら イ びくびく

ウ わくわく エ はらはら

Box for question 2 answer.

問三 線②「ねこは頭をかかえました」とありますが、このとき

のねこの気持ちとして、もつともよいものを次のア〜エから選び、

記号で答えなさい。

Box for question 3 answer.

ア おさかなのおくさんの言っていることの意味がわからない。

イ おさかなのおくさんの言ったことがとてもおもしろい。

ウ きずのいたみがひどく、早くよくなってほしい。

エ タイヤキがうまく説明できず、こまった。

Box for question 4 answer.

問四 線③「ねこはおさかなにかくれてごはんを食べるようにな
りました」とありますが、ねこがおさかなにかくれてごはんを食
べるようになったのは、どんなことに気づいたからですか。もつ
ともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

ア ねこの大好物の食べものを、おさかなは食べたことがないの
だということ。
イ 食べもののアジやイワシと友だちのおさかなは、実は同じよ
うなものだということ。
ウ 大好物のアジやイワシが、おさかなと同じような形をしてい
ること。

エ ねこが外で見えてきた世界の話をしても、おさかなに
はわかってもらえないということ。

Box for question 4 answer.

問五 線④「友だち」とはだれ(何)のことですか。文中から七
字で書きぬきな
さい。

Grid for question 5 answer: 7 characters.

問六 線⑤「おさかなは、えさをのこすようになりました」とあ
りますが、なぜそうなったのですか。もつともよいものを次のア
〜エから選び、記号で答えなさい。

ア タイヤキについてのねこの説明が不十分で不満だったから。

イ ねこに食べられそうで不安だったから。

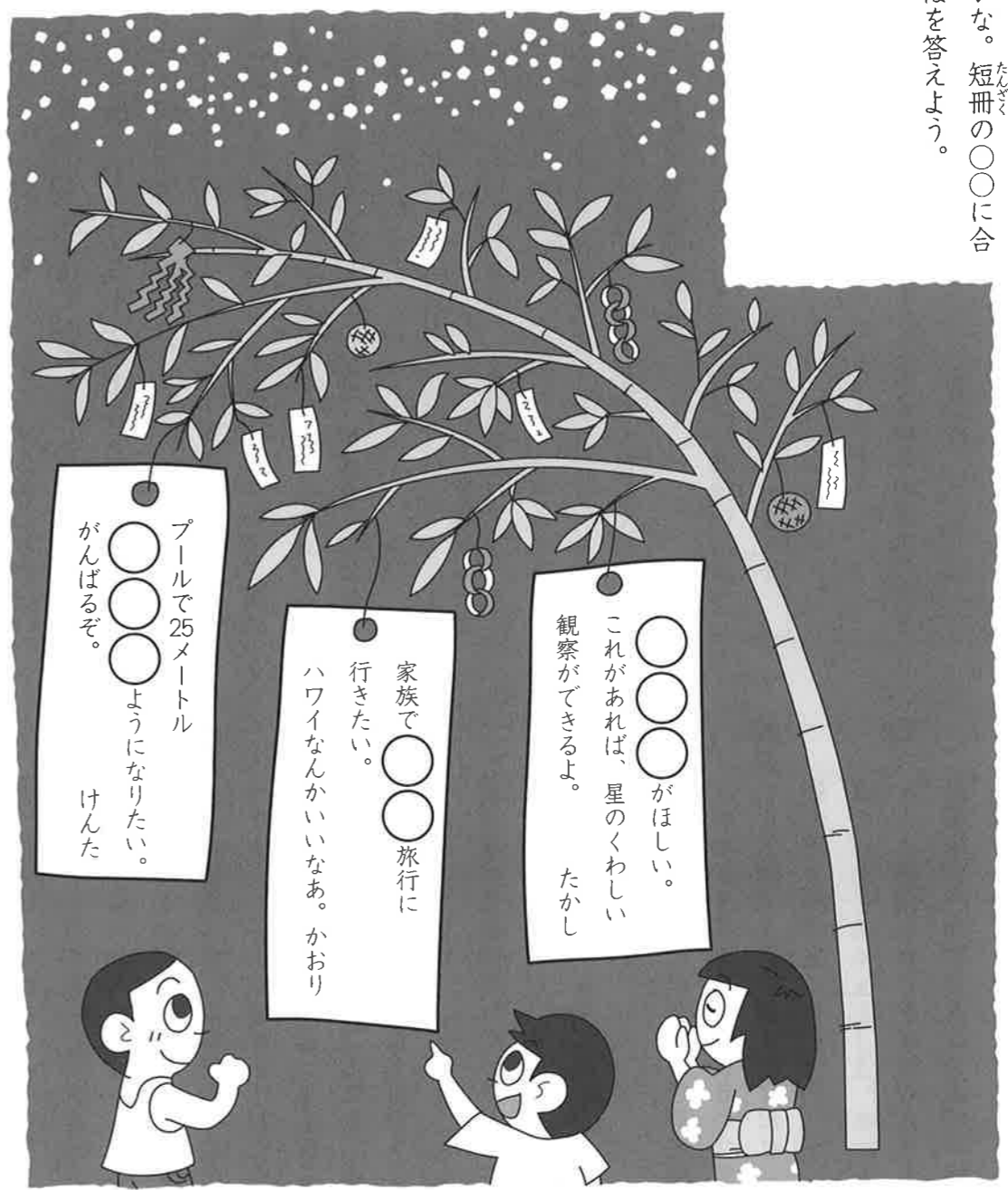
ウ ねこのけがが心配だったから。

エ ねこのけががひどくて気味が悪かったから。

Box for question 6 answer.



みんなはどんなねがいごとをしたのかな。短冊の〇〇に合うことばを答えよう。



1 <漢字の読み書き> (1)~(4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5)~(8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。

- (1) かんきょうはよいが、駅から遠いというのが欠点だ。
- (2) 特急電車から各駅停車の電車に乗りかえる。
- (3) パーティーの司会をした。
- (4) 図書館で本を予約する。
- (5) キャンプをするには、十分な準備がヒツヨウだ。
- (6) 何か良いホウホウはないか。
- (7) 今度のレンキュウには家族で旅行に行く予定だ。
- (8) わたしの家の庭には、一本のウメの木がある。

Blank boxes for writing answers to questions 1-8.

2 <漢字の筆順> 次の漢字の筆順の正しいほうの記号を○で囲みなさい。

(1) 左	(2) 父	(3) 右	(4) 止	(5) 女	(6) 皮	(7) 州	(8) 由	(9) 庭	(10) 世
イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア	イ ア
ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一	ノ 一
ナ ナ	ハ ハ	ナ ナ	ト ト	女 女	尸 尸	川 川	巾 巾	尸 尸	十 十
左 左	父 父	右 右	止 止	女 女	皮 皮	州 州	由 由	庭 庭	世 世

3 <部首の画数> 次の部首の画数を答えなさい。

(1) 之	(2) 糸	(3) 廾	(4) 廾
□	□	□	□
(1) 又	(2) 尸	(3) 廾	(4) 廾
□	□	□	□

4 <漢字の画数> 次の漢字の総画数を答えなさい。

(1) 引	(2) 緑	(3) 面	(4) 身	(5) 写	(6) 画	(7) 整	(8) 局	(9) 宮
□	□	□	□	□	□	□	□	□

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

キツネはタヌキにくらべ、身のこなしがすばやく、狩りの能力にすぐれている。カエルや昆虫や、人間のおやつのスナック菓子や、秋には果実も口にしているが、本来のたべものはノネズミやノウサギや鳥類で、キジ、カモ、カラス、ハクチョウなどもとらえてたべている。

ノネズミをとるときは、ジャンプ力にものをいわせ、後ろ足で高く立ちあがって、上からとびかかる。耳もよく、風のない野原なら、一〇メートル先のノネズミのかすかなもの音も聞きのがさない。竹をそいだようなピンと立った耳はだてでなく、高性能アンテナの役わりをはたしているんだね。目もいい。

ちえのはたらきも、なみたいていではないんだ。見るからにかしこそうな顔をしているが、じっさいにかしこいんだ。たとえば、ノウサギ狩りのしかたを見ると、いったんにげられても深追いをしない。にげられた場所でもまちぶせをする。ノウサギはかしこくなくてね。せっかくにげたのに、ぐるっとひと回りしてもどつてくるんだ。キツネはそれを知っていて、こんどはみごとにキヤッチしてしまう。

カモやハクチョウなどの水鳥はどうしてとるか。頭に水草をのせて、そーっと泳ぎよっていく。水鳥たちは、あやしみながらも、まさかキツネとは思わないから、ゆだんする。そのゆだんをついて、いきなりおそいかかるといふ、おそるべきカムフラージュ戦術をやっている。キツネが人のむすめに化けたりするとき、

頭に水草をのせるという話は、こうしたじっさいの狩りのしかたにヒントがあるようだ。

また、赤い土を体にぬりつけて死んだふりをし、カラスなどをおびきよせ、いきなりとびかかって牙にかけるといった狩法を使ったりもするとかで、ちえの深さははかりしれない。たべきれないえものは土にうめて保存しておき、うめた場所はひと月たってもおぼえていそうだ。

これらのとびぬけた能力を観察して、ヨーロッパの人たちも、むかしからキツネに、「悪ぢえの発達した、ずるがしこい動物」というレッテルをはって来た。

『イソップ童話集』を知っているよね。二六〇〇年前の、古代ギリシャにいたイソップというどれいが語ったとされる、たとえ話集で、『イソップ寓話集』ともいう。イソップは動物たちの話というかたちをかりて、人間のおろかしさをひにくたっぷりに語っているんだ。

岩波文庫版によれば、ぜんぶで三五八話のうち、一六九話に動物が登場している。哺乳類ではイヌ、ネコ、キツネ、イタチ、モグラ、クマ、ライオン、ヒヨウ、ハイエナ、ヤギ、ヒツジ、ロバ、ウマ、ウシ、ラクダ、ゾウ、サル、ウサギ、ブタ、イノシシ、ネズミなどが、その顔ぶれ。これらの動物は、古代ギリシャの人たちにとって、おなじみだったことがわかるが、東洋のタヌキについては知られていなかったため、まったく登場していない。

さて、キツネだが、動物が登場する一六九話のうち、四一話に顔をだしている。およそ四分の一だ。正直でお人よしのキツネは

いなくてね、ほかの動物をだまして、たべものを手にいれたり、いじわるをしてほくそえんだりする、悪役にしたてあげられているんだ。

古代の中国の人たちが、「キツネは、うたがいぶかくて悪がしこく、ずるいため、なかまからもほかの動物からもきらわれ、のけものあつかいされている」と考えたのと、共通の見方をしているところがおもしろいよね。

(木暮正夫 『キツネとタヌキの大研究』PHP研究所)

*1 だてに外見をかざるもの。見せかけのもの。

*2 カムフラージュに別列のものに見せかけて、ごまかすこと。

*3 狩法に鳥やけものをとる方法。

*4 レッテルをはって来たに評価を一方的に決めて来た。

*5 哺乳類の背骨をもっている動物の中で、母乳で子を育てる動物。

問一 線①「キツネはタヌキにくらべ……狩りの能力にすぐれている」とありますが、キツネが狩りの能力にすぐれているのは、どのようなとくちょうによるものですか。次の□にあてはまることを文中から書きぬきなさい。

ジャンプ力があり、耳や

□

がよいうえ、

□

のは

たらきがすぐれている。

問二 線②「ノウサギ狩りのしかたをみると……深追いをしない」とありますが、キツネがノウサギを深追いたくないのはなぜですか。次の□にあてはまることを文中から書きぬきなさい。

ノウサギににげられた場所で

□

をして

問三 □にあてはまることばとしてもっともよいものを次のアウと選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ また

ウ とろろが エ さて

問四 線③『イソップ童話集』には、キツネはどのような動物として登場しますか。もっともよいものを次のアウから選び、記号で答えなさい。

ア 正直でお人よしの動物。

イ 人の役に立つ動物。

ウ 悪ぢえのはたらく動物。

エ さびしがりやの動物。

問五 線④「古代の中国の人たちが……と考えたのと、共通の見方をして」とありますが、だれの見方が「古代の中国の人たち」と共通しているのですか。文中から九字で書きぬきなさい。

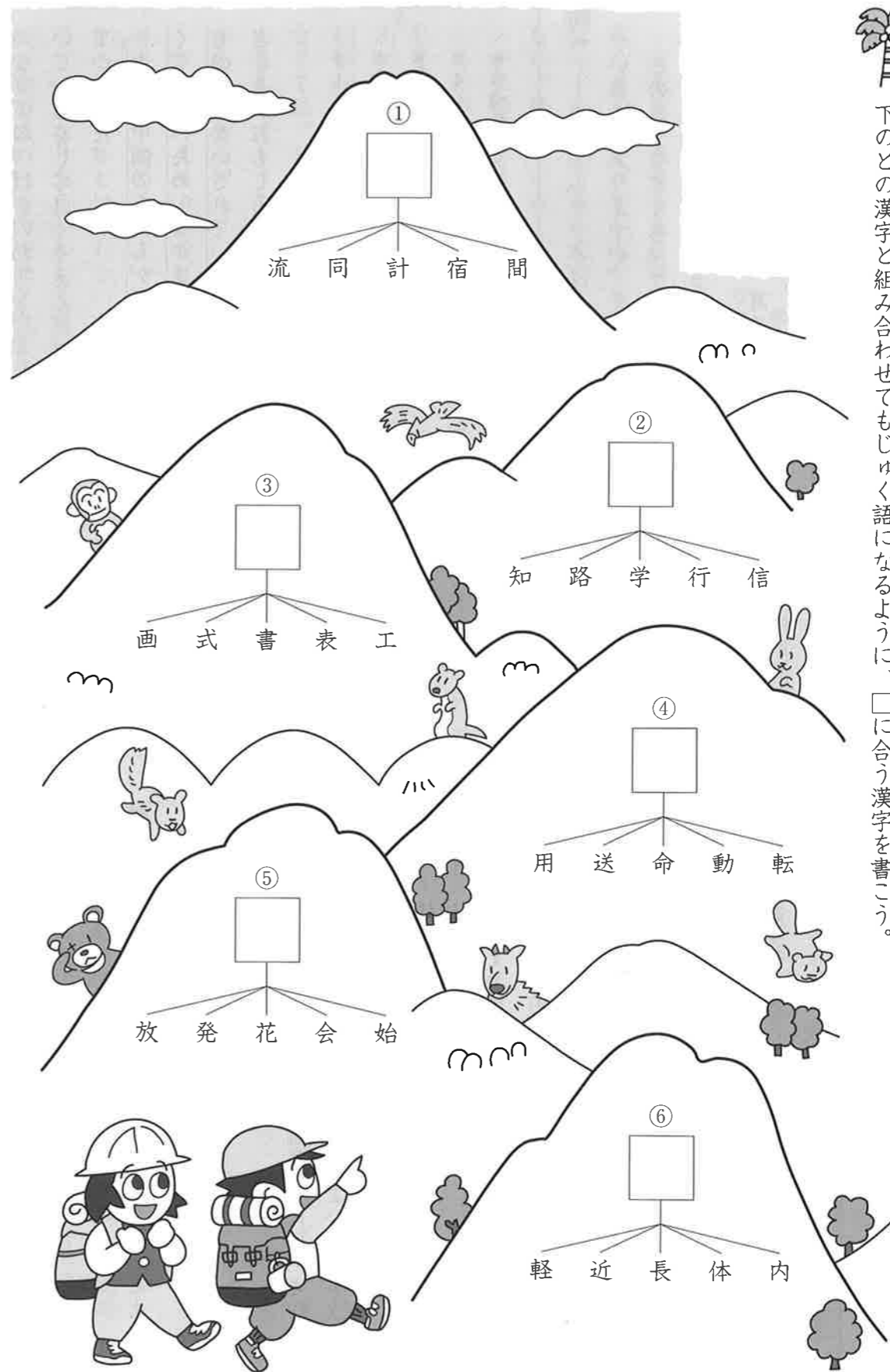
□

問六 この文章を次のように大きく二つに分けるとすると、どこで分けられますか。後半のはじめの五字を文中から書きぬきなさい。

前半……キツネは狩りの能力がどれほどすぐれているか。後半……人はキツネをどのような動物だと考えていたか。

□

下のどの漢字と組み合わせてもじゆく語になるように、□に合う漢字を書こう。



1 <漢字の読み書き>

- (1) (2) (3) (4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。
(1) 兄を信用してひみつを打ち明ける。

- (2) 夏休みの自由研究で、公害について調べる。
(3) アサガオの花を観察する。
(4) 漁船にのって、さんまをとる。
(5) わたしのかっているハムスターは、とてもアいらしい。
(6) ケンコウのために、好ききらいなく何でも食べる。
(7) 電車の中で、ロウジンに席をゆずった。
(8) 野鳥のほごにカンする本をさがす。

2 <国語辞典の使い方>

次のごときは、国語辞典ではどんな順にならんでいますか。早く出てくる順に、記号で答えなさい。

(1) ア	(1) ア	(1) ア	(1) ア
がくしゅう	かくじつ	かくしん	かくしん
イ	イ	イ	イ
かくじつ	かくしん	かくしん	かくしん
ア	ア	ア	ア
やと	やど	やと	やと
ウ	ウ	ウ	ウ
やと	やど	やと	やと

(2) ア	(2) ア	(2) ア	(2) ア
こむぎ	こむぎ	こむぎ	こむぎ
イ	イ	イ	イ
こむぎ	こむぎ	こむぎ	こむぎ
ア	ア	ア	ア
ゴム	ゴム	ゴム	ゴム
ウ	ウ	ウ	ウ
ゴム	ゴム	ゴム	ゴム

(3) ア	(3) ア	(3) ア	(3) ア
パズル	パーセント	ぱあい	ぱあい
イ	イ	イ	イ
パーセント	ぱあい	ぱあい	ぱあい
ア	ア	ア	ア
仕切る	仕切る	仕切る	仕切る
ウ	ウ	ウ	ウ
仕切る	仕切る	仕切る	仕切る

3 <漢和辞典の使い方>

次の漢字を漢和辞典の部首さくいんを使って調べようと思います。どの部首の何画を引けばよいですか。

(例) 花	(1) 列	(2) 庭	(3) 練	(4) 起	(5) 顔
艹	亠	宀	纟	起	頁
4					

□	□	□	□	□	□
□	□	□	□	□	□

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

こんもり小山に、くすのき一本。それが、ぼくらのひあたり山だ。おひさまをいっぱいあびて、ちっちゃな山に、ドーンと大きなくすのきがたっている。雨の日だって、木の下だけは雨じやない。根元のまわりが、ぜんぜんぬれないんだ。幅一メートルのまるい形で、円盤^{えんぱん}みたいだ。

くすのき円盤^{えんぱん}って、こっそりよんでいる。ぼくだけのヒミツだ。木のまわりから、太い枝^{えだ}がビュンビュンのびて、下から見えてるだけでも、東に三本、南に四本、西と北向きには、三本と二本……。

「ぜんぶで、枝は何本？」
「気がついたら、声に出していた。」
「エダってなーんだ？」
と、ふたりの声がそろそろ。

ここで生まれそだったふたりは、声までそっくりだ。転校してきて、一年ちよつとのぼくは、ときどき、ずっこけてしまう。「もういいよっ」

ポケットの中で、銀紙をまるめた小さなボールを、Aにぎった。
「かあさんに話そうっつー！」

B、ぼくはかけだした。
アパートの階段^{かいだん}をかけあがった。チャイムをならした。だれも出ない。

カギをあけて中にはいると、テーブルの上に走り書きが書いてあった。

りょう太へ

おじいちゃんがまた入院、大いそぎでかあさんは出かけます。とうさんに早くかえって、とたのみましたが、今夜もおそいそうです。ごめんね。おべんとうを買って食べてください。お金^{かね}はいつものところ。夜、電話します。

「がっかりなんて、していない！」
大きな声でいってみる。

新幹線^{しんかんせん}をつかって、おじいちゃんの介護^{かいご}にいったら、かあさんは、一週間はかえってこない。四年生になって学童保育^{がくどうほいく}がなくなったけれど、だれもない家にも、だいぶなれた。べんとうを、とうさんとふたり分、買いにいくなのは、ぼくの仕事^{しごと}っていうか、運命^{うんめい}みたいなもんだ。

食器棚^{しょくきだな}のひきだしをあけてみた。いつもかあさんは、一日千円のわりあてでお金^{かね}をおいていく。ぼくは、千円札^{せんげん}を一枚^{まい}つかんで、コンビニへいった。

ハンバーグべんとうと、しゃげべんとうを、かたむけないように両手^{りょうて}でもって、そろそろと歩きながら学校^{がっこう}まで遠まわりをした。フェンスに顔をくつつけて、目をこらした。

夕日^{ゆじつ}の中で、ひあたり山は、なんだかさむそうに見える。くすのきも、葉^はっぱや枝^{えだ}をまるめて、小さくなっていくようだ。
(高田桂子^{たかだけいこ}『ひあたり山とひつじのヒロシ』国土社)

問一 線①「くすのき円盤」とは、何ですか。次のにあてはまることを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

図表: 下の下に、雨の日のできる、幅 のまるい形。 にたっている大きな

問二 A・Bにあてはまることばとしてもっともよいものを次のア～エから選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア ぼうつと イ だつと A B
ウ ぎゅつと エ ぐらつと

問三 線②「だれも出ない」とありますが、なぜ家にだれもいないのですか。(1)かあさんがいない理由と、(2)とうさんがいない理由を、それぞれ書きなさい。

(1)
(2)

問四 線③「いつものところ」とは、どこですか。文中から八字で書きぬきなさい。

問五 線④「べんとうを……運命みたいなもんだ」とありますが、「運命みたいなもん」という表現^{ひょうげん}からわかることとしてもっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア どうにかしてやめてしまいたい、りょう太が思っているというここと。
- イ 自分がしなくてはいけないこととして、りょう太が受け入れているというここと。
- ウ これからも自分が引き受けていこうと、りょう太が強く決心しているというここと。
- エ なぜ自分がしなければならぬのか、りょう太がなつとくできないでいるというここと。

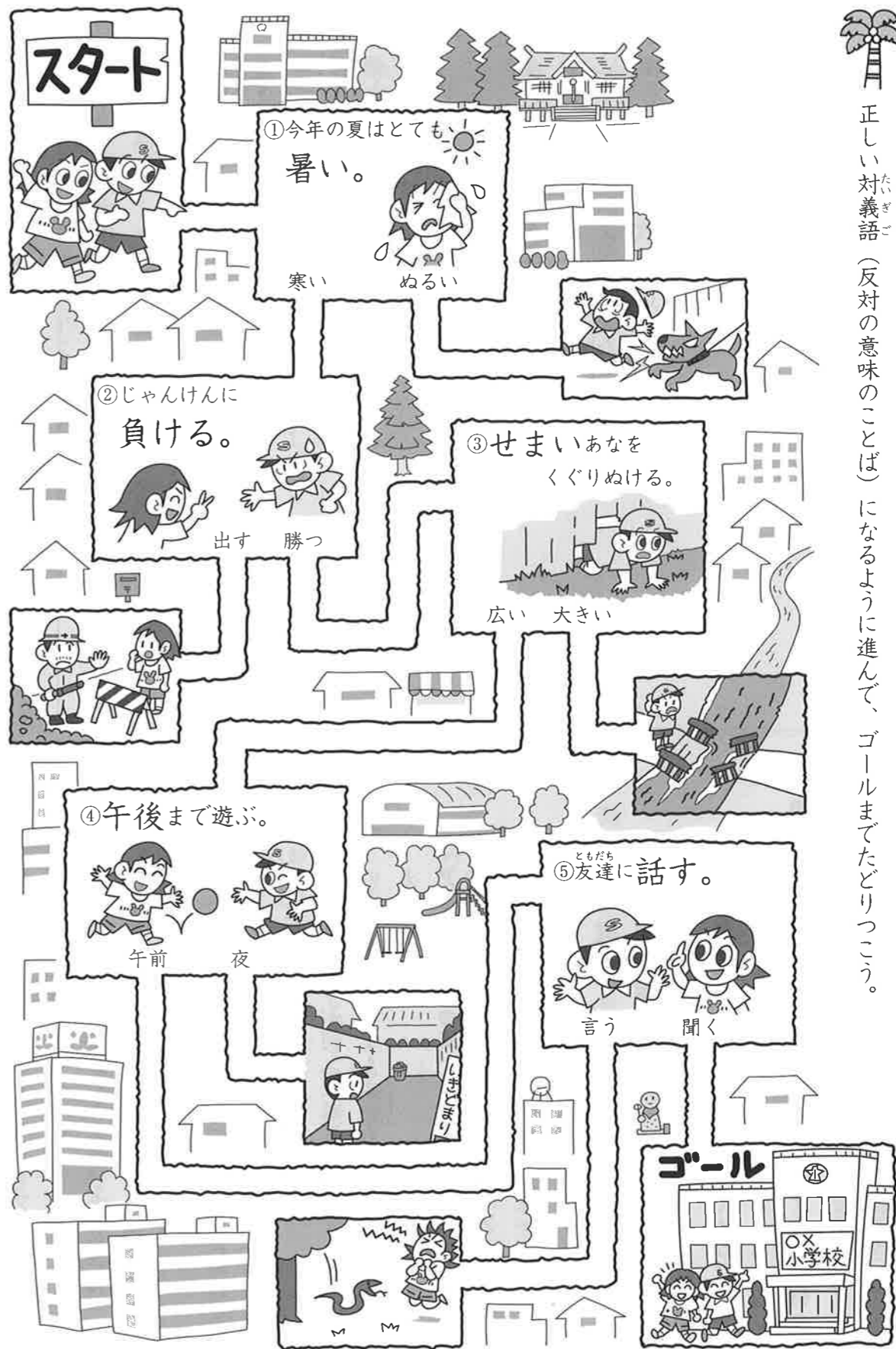
問六 線⑤「学校まで遠まわりをした」とありますが、そのことからわかることとしてもっともよいものを次のア～エから選び、記号で答えなさい。

- ア 友だちとやくそくをしているというここと。
- イ わすれ物^{わすれもの}をしてしまったというここと。
- ウ ひあたり山とくすのきのきのこと気がなっているというここと。
- エ 先生に相談^{さうだん}したいことがあるというここと。

問七 りょう太の気持ちが風景^{ふうけい}の描写^{びやう}に表れている、ひと続き^{つづき}の二文を文中からさがし、そのはじめと終わりの四字を書きぬきなさい。



正しい対義語（反対の意味のことば）になるように進んで、ゴールまでたどりつこう。



スタート

①今年の夏はとても暑い。
暑い。
寒い
ぬるい

②じゃんけんに負ける。
出す
勝つ

③せまいあなをくぐりぬける。
広い
大きい

④午後まで遊ぶ。
午前
夜

⑤友達に話す。
言う
聞く

ゴール
OX小学校

1 <漢字の読み書き>

(1) (2) (3) (4)の漢字は読みがなをひらがなで、(5) (8)のかたかなは漢字に直して書きなさい。

(1) 北極ではオーロラが見られるそうだ。

(2) 敗北したくやしさをわすれずに、明日からますます努力をする。

(3) 夏休みの課題を、毎日こつこつする。

(4) 機械で自動車の部品を組み立てる。

(5) キボウがなくなって、新しい自転車を買ってもらった。

(6) 旅行のキネンに写真をとる。

(7) 申しこみ用紙に住所とシメイを記入する。

(8) ジドウ公園で弟と夕方まで遊んだ。

Blank boxes for writing answers to questions 1-8.

2 <文の組み立て>

次(1) (2) (3) (4)の文は、あとのアエのどれにあたりますか。それぞれ記号で答えなさい。

(1) この本は新しい。

(2) 本田さんは学級委員長だ。

(3) かみなりが鳴る。

(4) ぼくには音楽の才能がある。

Blank boxes for marking answers to questions 1-4.

3 <文の組み立て>

次の(1) (2) (3) (4)の文の主語と述語と修飾語を答えなさい。

(1) 風がそよそよとふく。

(2) 屋根にねこがいる。

(3) 教室はとても静かだ。

(4) お金が少し足りない。

Table for analyzing sentence structure with columns for 主語 (Subject), 述語 (Predicate), and 修飾語 (Modifier).

1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今日は、クラス対抗の水泳大会の日。あと一種目、五十メートル男子自由形で優勝クラスがきまる。

「だれか、出てくれないか。出さえすれば、ぶりでも、一点はもらえるんだ。六年二組が十点とつても、同点優勝だぞ。」

学級委員や、ゴイサギ・ボーイズは、まだ泳いでいない連中に話してまわった。

だが、五十メートル泳ぎきる自信のあるものは、だれもない。5 場内アナウンスはよぶ。

「五年三組の選手はまだですか。」

プールのとびこみ台には、九人の選手がずらりとならんだ。五年三組の第八コースだけが、 あいている。

ドーン

スタートのピストルが鳴って、九人の選手は、いっせいに水中にとびこんだ。

「さんねん、優勝をのがしたな。」

ゴイサギたちが顔を見あわせたとき、第八コースのとびこみ台に立った子がいた。

「あつ、太郎左衛門だ。」

みんなはおもわずさげんだ。正広はプールのなかに、ドボンと落ちこんだ。自分では、とびこんだつもりだ。ほかの組の子どもたちは、どつとわらった。

「つぶれたカエルみたいだぞう。」

もう、だれ一人、正広をわらう子はいなかった。

校長先生も、ほかの先生も、総立ちになり、全校生徒が正広をおうえんした。

「がんばれ！ 正広くん。がんばれ！ 正広くん。」

さげぶ夏子先生の目のなかで、泳ぐ正広のすがたがぼやけていく。なみだが、あとから、あとから、わいてくるのだった。

(古田足日『夏子先生とゴイサギ・ボーイズ』童心社)

*1ゴイサギ・ボーイズはゴイサギ森で遊んでいる、森田健、小林ひろし、橋本京平、川口とし子の四人組のこと。

*2太郎左衛門は正広のこと。

問一 にあてはまることばとしてつともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア ごっそり イ こっそり
ウ ぶつり エ ぼつかり

問二 線①「第八コースのとびこみ台に立った子がいた」とありますが、正広が五十メートル男子自由形に出ることにしたのは、なぜだと考えられますか。次の にあてはまることばを文中からそれぞれ書きぬきなさい。

自分が出さえすれば、たとえ でも一点はもらえるので、六年二組が十点とつても、五年三組は六年二組と同点になり、 できるから。

問三 線②「正広はプールのなかに、ドボンと落ちこんだ」とありますが、ほかの組の子どもたちは、このときの正広の様子を何

「カエルなら、泳げるけど、太郎左衛門はかなづちだ。」
そのとおり、ちよつと泳いだ正広は、ぶくぶくとしずんだ。

「あ、あ、あ。」

夏子先生は、気が気でない。

「がんばれ、太郎左衛門。プールは浅いぞ。背が立つぞ！」
ゴイサギ・ボーイズは、声をそろえてどなった。

正広はプールのなかに立ちあがり、ひといきつくと、また泳ぎだした。

「それでも選手かあ。うきわ、かしてやろうか。」

やじがとんで、ほかの組の子はまたわらう。だが、五年三組の子は、だれもわらわなかった。

「がんばれ！ 太郎左衛門。がんばれ！ 太郎左衛門！」

四、五メートル泳いで、ひとやすみ。またひとやすみ。正広はイヌかきで泳いだ。

ほかの選手は、もう二十五メートルのプールを往復して、岸に上がった。

正広は、やつと、こちら岸についた。

「あがったら、ね、正広くん。」

夏子先生は正広を引っぱりあげようとした。

だが、正広は、くるしそくに大きないきをつぎながら、ターンした。

広いプールを、たった一人。正広は、いきをきらし、しずみそうになりながら、やすみ、やすみ、泳いでいく。

「がんばれ！ 太郎左衛門。がんばれ！ 太郎左衛門！」

にたとえてはやしたてましたか。文中から七字で書きぬきなさい。

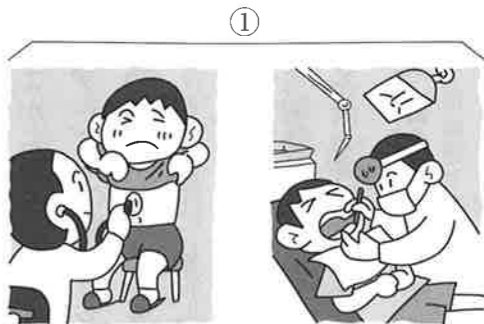
問四 線③「ちよつと泳いだ正広は、ぶくぶくとしずんだ」とありますが、この様子を見た夏子先生はどんな気持ちになったと考えられますか。もつともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア 正広がちゅうで泳ぐのをあきらめてしまっているのではないかと不安に思う気持ち。
イ 正広がぶりになってしまっているのではないかとあせる気持ち。
ウ 正広がおぼれてしまうのではないかと心配する気持ち。
エ 正広がほかの組の子にわらわれてしまっているのではないかとおそれる気持ち。

問五 線④「校長先生も、ほかの先生も、総立ちになり、全校生徒が正広をおうえんした」とありますが、このときのみんなの気持ちを説明したものとしてつともよいものを次のア〜エから選び、記号で答えなさい。

- ア かなづちだった正広が、みごとに五十メートル泳ぎきろうとしていることにびっくりしている。
イ うまく泳げず、くるしい思いをしながらも、最後まで泳ぎぬこうとする正広のすがたに感動している。
ウ たとえぶりでも、少しでも早くゴールしようとして必死に泳ぐ正広の気迫におどろき、近よりがたく思っている。
エ くるしくて、何度もしずみそうになりながらも、少しも休むことなく泳ぎ続ける正広を深くそんけいしている。

1 絵に合うように、次の文にそれぞれ読点（、）を一つずつ打とう。



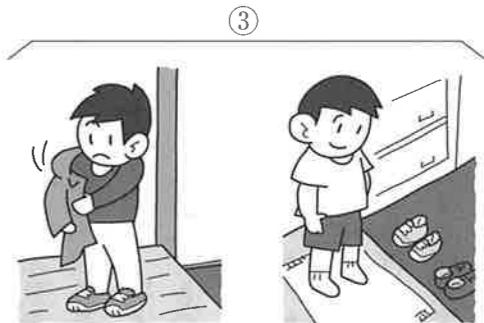
ぼくはいしやに行く。

ぼくはいしやに行く。



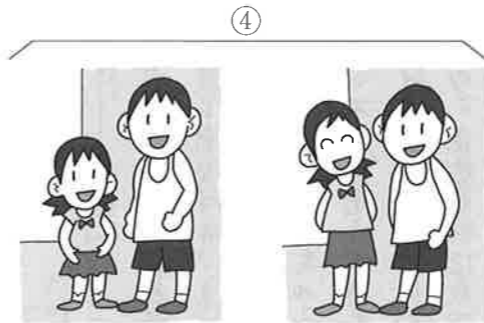
夏休みの宿題はやめにする。

夏休みの宿題はやめにする。



ここではきものをぬいでください。

ここではきものをぬいでください。



背の高い少年と少女が来た。

背の高い少年と少女が来た。

2 次の説明に合う雨や風の名前をそれぞれ□から選んで、□に書こう。

夕立・梅雨・春雨・時雨

木がらし・あらし・つむじ風・そよ風



① 春、しとしととふる細かい雨。



② 夏の夕方などに急にはげしくふりだし、すぐにやむ雨。



③ 秋の終わりから冬の初めにかけて、ふつたりやんだりする雨。



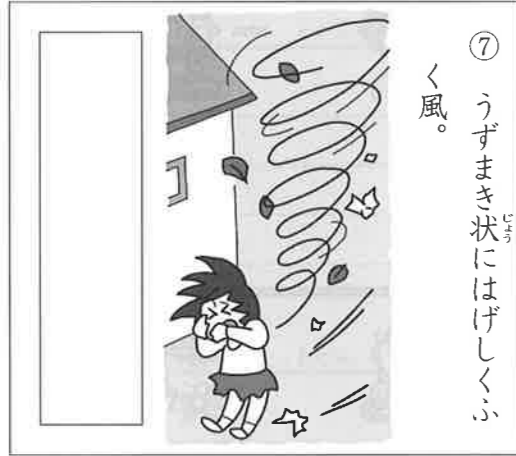
④ 六月から七月にかけて、長くふり続く雨。



⑤ 秋から冬の初めにかけて、強く、冷たくかわいた北風。



⑥ 静かにふく風。



⑦ うずまき状にはげしくふく風。



⑧ はげしくふく風。または、雨まじりの強い風。